

富山について

1. 日本のアルミニウム

日本国内初のアルミニウム加工は1894年に大阪砲兵工廠で始まりました。その後、アルミニウムは、輸送用機械(新幹線等)、熱交換器、建設(LNGタンク等)、電子デバイス(ハードディスク等)と容器(缶等)といった日本の社会・産業インフラを支える基盤材料となりました。軽量でリサイクル率100%のアルミニウムは日本における持続可能な社会の実現に重要な役割を果たしています。



3. 世界遺産 五箇山合掌造り集落

一歩足を踏み入れると、美しくどこか懐かしい日本の原風景が広がる五箇山合掌造り集落。日常を忘れ穏やかな時を過ごすことができます。「合掌造り」と呼ばれる茅葺の家屋は、国内ではこの近隣でしか見られない貴重な建築様式です。



5. 天然の生けす： 富山湾

標高3,000m級の立山連峰から、水深1,000mで高低差4,000mの地形が生み出す富山湾は、四季を通して新鮮で多彩な食材に恵まれています。特に、沿岸から急激に深くなる海底谷を持つ富山湾では漁港の近くで漁ができます。とれたての魚がすぐに市場へ供給され、新鮮なうちに味わうことができます。これは富山湾が「天然の生けす」と称される所以です。



2. 富山とアルミニウム

富山県の良質で豊富な工業用水と安価で安定した電力供給は1930年代からこの地域のアルミニウム産業の発展を支えてきました。現在、アルミニウム押出型材の27%と住宅用アルミニウム製サッシの35%は富山県で生産されています。世界で2番目に高い建築物、かつ電波塔としては世界一の高さを誇る「東京スカイツリー®」にも富山県で製造されたアルミニウム建材が使用されています。

4. 日本の屋根： 立山黒部アルペンルート

立山黒部アルペンルートは標高3,000m級の北アルプスを貫く世界有数の山岳観光ルートです。富山県から長野県まで様々な乗り物を使い進んで行く雲上の旅では、立山黒部の雄大な大自然を満喫することができます。

富山の気候

会議が開催される9月の富山は温暖で快適な季節です。特に山間部など地域によって温度差が予想されますので、屋外のイベントに参加される際には上着をご持参ください。

- 平均気温: 24.0°C
- 最高気温: 28.2°C
- 平均降水量: 125mm
- 最低気温: 20.3°C

富山へのアクセス



東京⇄富山 羽田空港⇄富山空港: 飛行機で約55分
東京駅⇄富山駅: 北陸新幹線で約2時間

大阪⇄富山 関西空港⇄大阪駅: JRで約1時間
大阪駅⇄富山駅: JRで約3時間

名古屋⇄富山 中部国際空港⇄名古屋駅: 鉄道で約30分
名古屋駅⇄富山駅: JRで約3.5時間

会場

富山国際会議場
〒930-0084 富山県富山市大手町1番2号
ウェブサイト: <https://www.ticc.co.jp/>

ANAクラウンプラザホテル富山
〒930-0084 富山県富山市大手町2-3
ウェブサイト: <https://www.anacrownplaza-toyama.jp/>

・富山空港より空港連絡バスで約20分
・富山駅より市内電車(環状線)で約15分(5分間隔で運行)

※富山国際会議場1~3階のパブリックスペースには無線LANのインターネット環境が備えられています。

※最新の運航状況について各航空会社にお問い合わせください。

お問い合わせ



ICAA18事務局(株式会社PCO内)

〒939-8063 富山県富山市小杉120

メール: sec.icaa18@pcojapan.jp ウェブサイト: <https://www.icaa18.org>



ICAA18

TOYAMA JAPAN 2022

第18回 アルミニウム合金国際会議

Aluminium and Its Alloys for Zero Carbon Society

ファーストアナウンスメント

会期 | 2022年9月4日(日)~8日(木)

富山国際会議場

富山県富山市大手町1-2 <https://www.ticc.co.jp/>

会場

ANAクラウンプラザホテル富山

富山県富山市大手町2-3 <https://www.anacrownplaza-toyama.jp/>



主催: 一般社団法人 軽金属学会

後援: 公益財団法人 軽金属奨学会

一般社団法人 日本アルミニウム協会

一般社団法人 軽金属溶接協会

株式会社神戸製鋼所

三菱アルミニウム株式会社

日本軽金属株式会社

昭和電工株式会社

株式会社UACJ

ご挨拶



熊井 真次

ICAA18組織委員会 委員長
東京工業大学 教授

ようこそICAA18へ！ 日本で3度目のICAAを開催する機会に恵まれたこと、大変有難く存じます。今回も、豊橋(1998)、横浜(2010)と同じく、世界的にも稀有な軽金属に特化した学会である軽金属学会(JILM)が主催いたします。

アルミニウムは、高い電気伝導性、熱伝導性、耐食性、比強度および成形性など、多くの優れた物理的、化学的、機械的特性を有しています。よって、アルミニウムとその合金は、構造材料や機能材料として幅広く利用されています。

これに加え、今、私たちは、アルミニウムのもつエコマテリアルとしての素晴らしい可能性に注目しなくてはなりません。自動車への軽量アルミニウム合金の使用は、走行中のCO₂排出量を効果的に削減することができます。さらに、アルミニウムスクラップを原料とし、新地金に比べ大幅に製造エネルギーや温室効果ガス排出率が低い再生アルミニウム地金を製造することが可能です。今後、地球環境保護のため、再生アルミニウムの積極的な使用を進めていかねばなりません。今こそ、持続可能な社会の実現に向けて、アルミニウムとその合金に関する基礎研究および応用研究の両成果を活用する絶好の機会です。このようなことから、我々は、ICAA18のメインテーマとして“Aluminium and Its Alloys for Zero Carbon Society”を掲げることにいたしました。

風光明媚で豊かな自然に恵まれた富山は、このような会議を開催するにふさわしい場所です。ICAA18が、世界中からお集まりの方々にとって、互いを理解し、刺激し合い、そしてアルミニウムの未来をリードする若い研究者や学生を鼓舞する舞台となることを心より願っています。

皆様とICAA18富山でお会いできることを楽しみにしています。



松田 健二

ICAA18実行委員会 委員長
富山大学 教授

2022年9月4日から8日まで富山において、第18回アルミニウム合金国際会議(ICAA18)が開催されます。

豊富できれいな水、安価で安定した電力供給、自然災害の減少、便利な交通手段のおかげで、富山は主要な製造県の1つとして発展し、富山には金属、機械、製薬、化学、繊維、ITなどのさまざまな産業があります。そして、富山県のアルミニウム産業は、高岡銅器鑄造技術と安定した電力供給を基盤に進化してきました。富山は、日本を代表するアルミニウム産業の拠点となり、世界のファスナーメーカーとなっています。また、富山県には、富山湾の水深1,000mから北アルプスの立山連峰3,000mの山頂まで、さまざまな自然豊かな地形があり、水力および地熱資源および再生可能エネルギーの高い可能性を有しています。

富山県は、持続可能な開発目標(SDGs)もサポートしており、環境に配慮した未来への計画の1つとして、公共交通機関を再編したコンパクトシティの構築があります。

環境にやさしいイメージング富山を是非ご覧ください。

スケジュール

2021年12月1日	講演申込(300ワードアブストラクトオンライン提出)締切
2022年1月16日~31日	採択通知
2022年5月31日	1ページアブストラクトのオンライン提出締切(必須)
2022年5月31日	Materials Transactions特集論文原稿投稿締切(任意)
2022年5月31日	早期参加登録締切
2022年9月1日	1ページアブストラクト集ダウンロード開始
2022年9月4日~8日	ICAA18開催
2022年12月1日	Materials Transactions第63巻 ICAA18特集 電子版 発刊

組織委員会

熊井真次	小山克己	増田勝昭	田中宏樹
穴見敏也	山口恵太郎	松田健二	
高山善匡	荒木秀樹	戸田裕之	

実行委員会

松田健二	西村克彦	鈴木真由美	池野 進
久幸晃二	小野英樹	本間智之	宇野清文
廣澤涉一	北園幸一	倉本 繁	橋本武典
成島尚之	日野 実	堀川敬太郎	荒城昌弘
久保田正広	中山栄浩	足立大樹	平野清一
田中宏樹	小橋 眞	小林正和	巽 明彦
河村能人	斎藤尚文	半田岳士	久米 治
箕田 正	御手洗容子	春名 匠	李 昇原
松本克史	内田秀俊	岩尾祥平	佐伯 淳
中沢 靖	中井 学	吉田朋夫	木村 健
橋内 透	柴柳敏哉	会田哲夫	土屋大樹

講演募集

ICAA18では口頭発表とポスター発表を募集します。300ワード(以内)のアブストラクトを2021年12月1日までに提出ください。

トピックス

- ① Modeling & simulation
- ② Casting, solidification, recycling & refining
- ③ Additive manufacturing
- ④ Foams & composite materials
- ⑤ Mechanical properties & advanced processing
- ⑥ Thermomechanical processing, texture & recrystallization
- ⑦ Heat treatment, phase transformations & precipitation
- ⑧ Corrosion & surface treatments
- ⑨ Joining, emerging processes & multi material
- ⑩ Advanced characterization
- ⑪ Aluminium & its alloys for zero carbon society

若手研究者賞・ポスター発表賞

優秀な研究内容とその発表成果をもとに若手研究者賞が与えられます。また、ポスター発表においては優秀な発表者に賞が与えられます。詳細はウェブサイトにてお知らせします。

参加登録費

(早期割引料金)	
一般	90,000円
学生	40,000円
同伴者	15,000円
(当日料金)	
一般	100,000円
学生	50,000円
同伴者	15,000円

国際委員会(2018年6月現在)

Alexis Deschamps	France
Richard Hamerton	USA
Jürgen Hirsch	Germany
Christopher Hutchinson	Australia
Rustam Kaibyshev	Russia
Shinji Kumai	Japan
Qing Liu	China
Knut Marthinsen	Norway
Irina Matveeva	Russia
Ashim Kumar Mukhopadhyay	India
Warren Poole	Canada
Joseph Robson	UK
Christophe Sigli	France
Birgit Skrotzki	Germany
Hiroki Tanaka	Japan
Hai Zhang	China

1ページアブストラクト

300ワード アブストラクト提出者は1ページアブストラクトを2022年5月31日までに必ずご提出ください。

Materials Transactions特集論文発刊

共同刊行誌Materials Transactionsに ICAA18特集として論文を掲載いたします(希望者のみ)。詳細はウェブサイトにてお知らせします。

企業展示

日本と富山県のアルミニウム産業による企業展示を開催いたします。詳細はウェブサイトにてお知らせします。

エクスカーショ&企業見学

三方が切り立つ山々に囲まれ、また一方が深い海に面している富山県は、壮大な景観と美味しい食を堪能できる自然豊かな土地です。また、アルミニウム産業関連会社を80社以上有し、ものづくりが盛んな地域です。

エクスカーショ&企業見学は国際会議後に開催予定です。参加者は申込が必要となります。詳細はウェブサイトにてお知らせします。